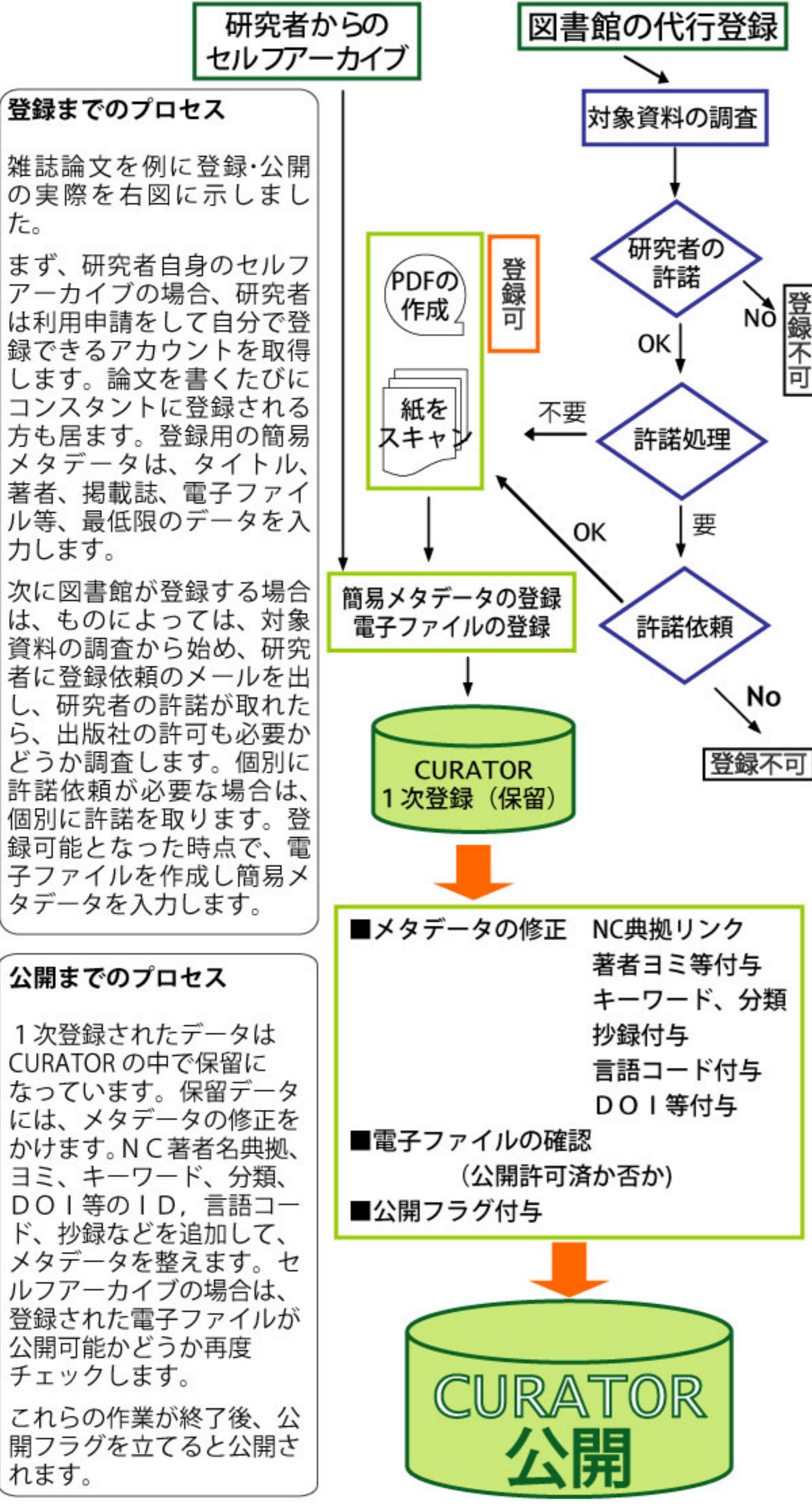
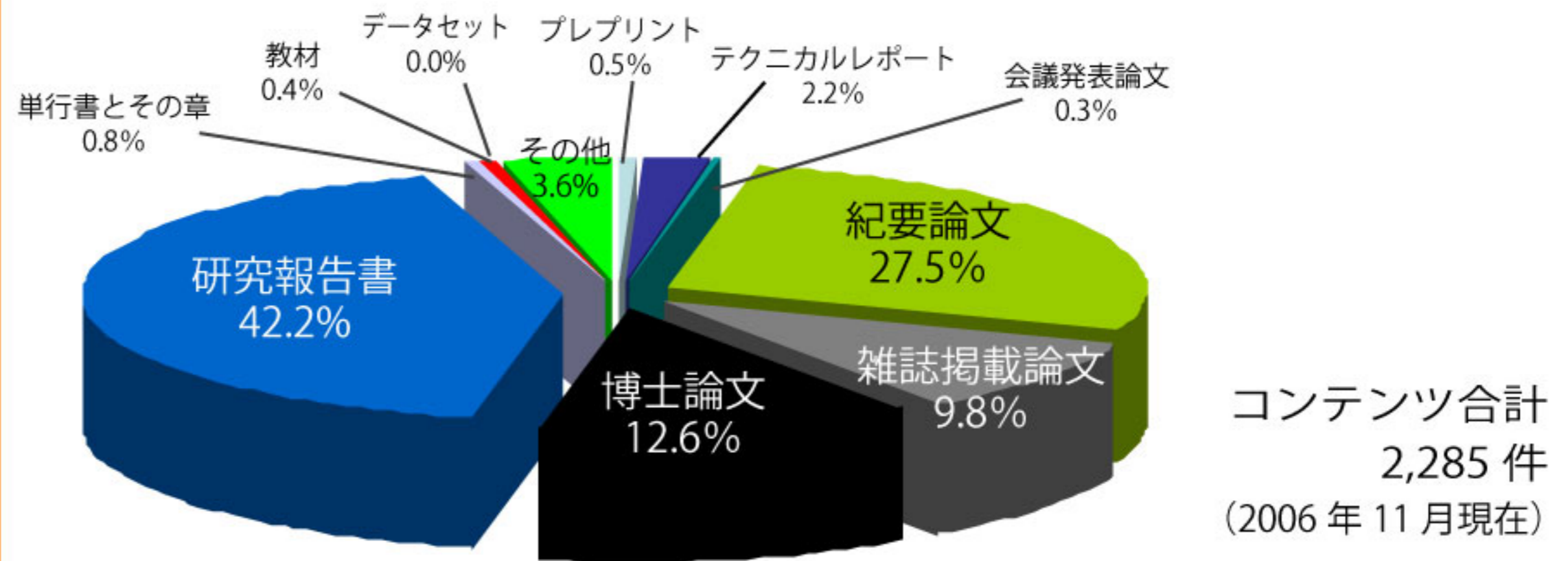


## CURATOR登録・公開の実際 (雑誌論文の例)



## CURATORの現状

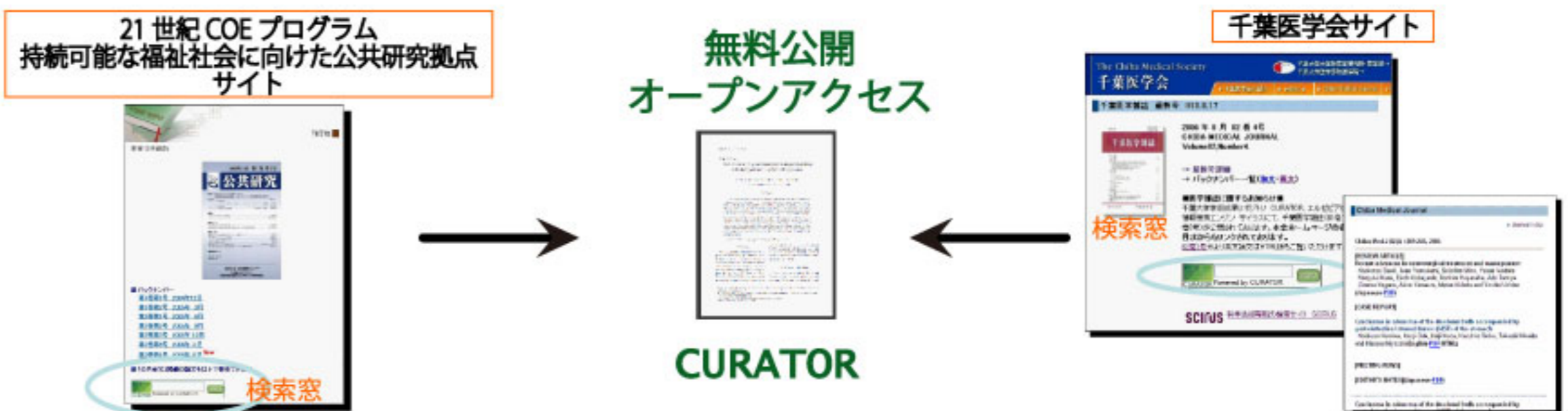
コンテンツの収録状況は、現在、以下のような分布を示しています。今後、NIIに依頼した紀要論文が登録される予定ですので、今以上に紀要論文の割合は高くなると思われます。しかし、学会・出版社等への許諾作業も平行して行っており、学術雑誌論文の収集にも続けて努力をしていきます。博士論文等、学内で生産される学術成果を継続して収集し、より豊かなコンテンツを目指します。



今後、研究者情報データベースを元に公開される研究者情報公開システムとの連携も予定されており、研究者にとっての利便性と公開情報の一元化を目指していきます。

## CURATORが支える学内出版 オーバーレイジャーナル：紀要サイトからのリンクと検索

千葉大学では、学内の学術雑誌編集発行元と協力して、オーバーレイジャーナルを実現しています。オーバーレイジャーナルとは、発行元のサイトに目次や案内を置き、リポジトリ内にある本文ファイルへのリンクを持つものです。この機能にさらに検索窓をつけて、該当雑誌の中から、入力したワードを検索することも可能としています。



このような試みは、情報発信に意欲的な発行元との連携の上に成り立っています。「公共研究」は、21世紀COEプログラム「持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点」の機関誌として、持続可能な福祉社会実現のための研究を広く社会に公開することを目的として刊行されており、千葉大学で最初にオーバーレイ・ジャーナルを実現した雑誌です。

一方、「千葉医学雑誌」は、完全な電子ジャーナル化を目指しています。それゆえ、英文論文はhtmlファイルも持ち、画像やPubMed、他のフルテキスト論文へのリンクを有効に利用できる様に作られています。電子ジャーナルとして研究成果を発信することにより、さらに研究自体のインパクトを高めるといった目的を持っています。

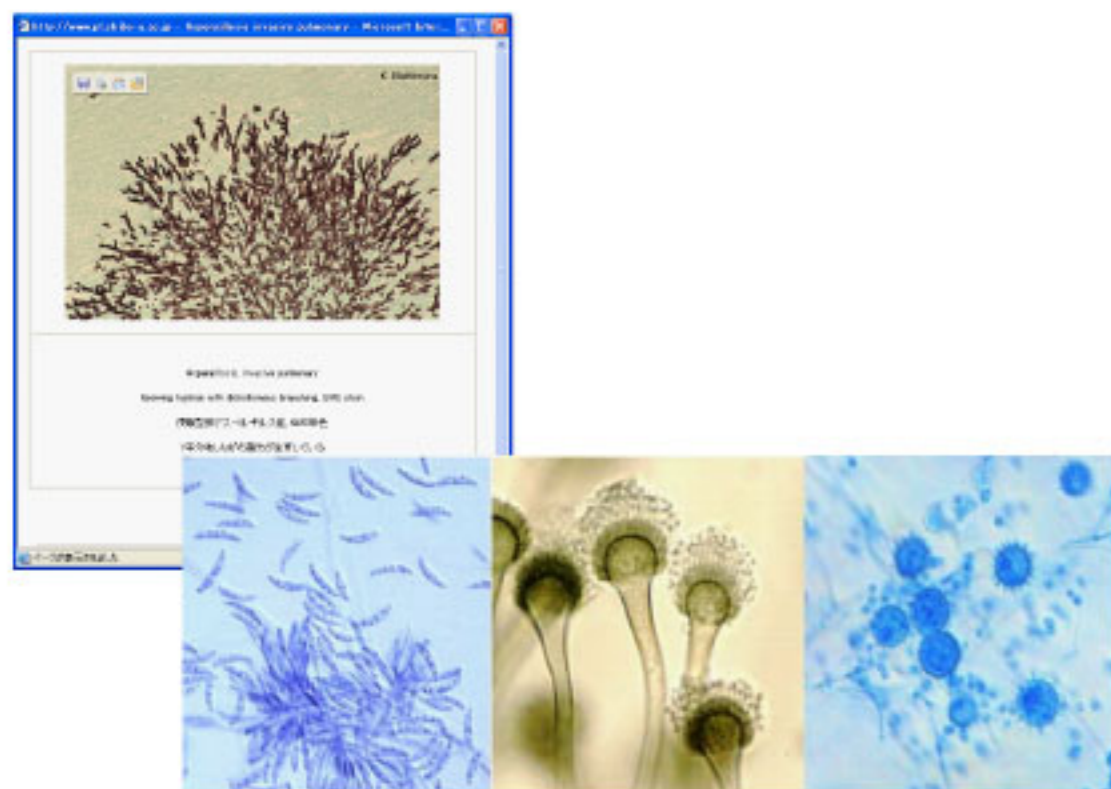
このような積極的な情報発信の道具として、CURATORがますます有効に利用されるように、附属図書館では、Scirusとの連携等の努力を続けています。

## 教育研究基盤を提供する CURATOR: e-Science データ

### 真菌・放線菌ギャラリー

千葉大学真菌医学研究センターでは、研究の際に撮影された真菌・放線菌をセンターのサイトにギャラリーとして掲載しています。

真菌医学研究センターから、CURATORを保存用の2次サーバーとして利用できないかとの申し出がありました。確実にこれらの貴重な写真を保存したいとの要望にこたえて、学名等のほかに、多くの人からも検索可能な一般名、病名等のメタデータを付与し価値を高め発信力を強化して、登録作業を進める準備をしています。



### 卒業生のデザイン作品画像



2006年4-5月に開催された「戦後デザインの軌跡」展(千葉市美術館)は、戦後のインダストリアルデザインの代表作を送り出した千葉大学工学部デザイン工学科卒業生の作品を集め好評を博しました。

附属図書館は、デザイン工学科、千葉市美術館と協力し、これらの画像をCURATORに保存し公開する事業を進めています。現在、約300件以上に及ぶこれらの製品の製作に関わったデザイナーや企業に承諾を申請しているところです。

これらのうちのいくつかの画像は、動画も作成し同時に公開する予定です。戦後の代表的なインダストリアルデザインを生み出した卒業生の作品を収集することにより、デザイン工学科の歴史と価値を広く社会に周知するという効果が期待されています。

### 衛星データ

予定されるコンテンツとしては、千葉大学環境リモートセンシング研究センターが発信する膨大な衛星データがあります。

千葉大学環境リモートセンシング研究センターでは、時系列に惑星や地球上のある地域の画像を送り続けるデータベースを公開していますが、CURATORと連携して、さらに効果的な発信方法を模索しているところです。

